



おひさまきらきら えがおいっぱい なんざんようちえん

12月号

港区立南山幼稚園

平成29年11月30日

NANZAN Kindergarten



〒106-0046
港区元麻布 3-8-15
(3408) 4785

【南山小学校からのギフト】

その1：小学校の南山の森の自然
紅葉を遊びに取り入れる3歳児



その2：広々とした校庭の活用
修業と題して縄跳びに挑戦する
4歳児



【遊びを豊かにするギフト】

ばら組十番商店街の人気のそば屋
行列に並ぶ3歳児と5歳児



遊びや生活を豊かにするギフト

園長 ^{こくほ とくこ} 小久保 篤子

今年も早いもので、1年を振り返る時期となりました。最近の子どもたちの遊びを見てみると、今の時期、これまでの園生活を通して様々な経験の積み重ねが子どもたちの姿に表れていると感じることが多くなりました。他学年との自然なかかわりが多く見られるようになったことはもとより、小学生や地域の方々との交流では、南山ならではの家庭的で温かいつながりを感じることができます。この恵まれた環境が子どもたちの遊びや生活を豊かにしている、とても尊いものであると改めて感じています。

先日、4歳児が自分たちで「麻布十番商店街」ならぬ「ばら組十番商店街ごっこ」を考えました。パン屋、そば屋、ケーキ屋…どれも美味しそうな香りがするものばかり。他にもたい焼き屋や焼き鳥屋もやりたいと子どもたち。招待を受けた3歳児は、色付いた葉っぱをお金に見立て、にぎわいを見せる「ばら組十番商店街」で食事や買い物を楽しんでいました。このような姿につながる過程には、これまでの5歳児が考えたお店屋さんごっこや作品展でのドラゴンパークなど、4歳児に「年長組の遊びに招待されて楽しかった。」「年長組ってすごいな。」という気持ちがあったからこそ、「自分たちもやってみたい。」という遊びの意欲につながったのです。

子どもは大人的生活スタイルの影響を直に受けます。それは園での子どもの遊びや生活に表れてきます。南山の子どもたちは、麻布十番商店街の活気ある風景やお店の人との触れ合い、美味しそうな香り等に包まれ、地域の方々に見守られながら育っているのです。地域の方の優しさや温かなまなざしは、幼児期にふさわしい最高のギフトです！

